

確かな学びと豊かな心・健やかな体をはぐくむ 学校力向上プラン【学校評価計画書】

堺市立新浅香山小学校
校長 所川 理恵

中学校区におけるめざす子ども像
個性を伸ばすとともに、自らを律し他を思いやることのできる子

令和2年度 重点目標

「よりよくしようと考える喜び、人の役に立つ喜び、表現する喜びを持つ児童の育成」を重点目標とし、「知識技能を基に一人一人が考えをもち、学びを深める授業」「思考・判断・表現を支える国語力の育成」「教師が個に応じた指導の研修を深め、児童理解のもと一人一人の力を伸ばす特別支援の推進」「ふれあいを通じた人権意識の育成と道徳教育の推進」「規範意識の醸成とあいさつ運動、思いやりのある言語生活の定着」「健康的な生活習慣の確立」などを通して、児童が「達成の喜び」「役立つ喜び」「大切にされる喜び」の3つの喜びを体験させながら、学力、体力、自尊感情、主体性等の向上を図る。

「確かな学び」の現状

・全体としては基本的な学習習慣や基礎的な学力を身につけている児童は多い。しかし、新聞や図表など様々な情報を読み、必要な情報を選び、考えを深めることに課題がある。
・学校全体で言葉を豊かにする取り組みを実践している。児童の関心も高く、学びの診断においても「言葉に関する知識・理解・技能」の力を発揮している。全教科を通して、資料をもとに、考えを出し合い話し合うことで互いの思考を深められるよう、学習の進め方を工夫することが必要である。

「豊かな心・健やかな体」の現状

・「人の気持ちのわかる人になりたい」と思う子が多く、思いやりがあるが、「人が困っている時に進んで助ける」と答える児童の数に学年間の差があった。全学年の児童が「人の役に立つ喜び」を感じるように特別活動を見直す必要がある。
・「新浅香っ子7つの約束」の呼びかけで、「朝食を毎日食べている」に対する肯定的な意見の割合は改善されて、堺市の平均と同等の割合を示してきている。家庭における朝食への意識が高まっていることがわかる。

大項目	中項目	具体目標	具体的な取組 (●重点とする取組、★中学校区での取組)	判断基準 (評価のものさし)	評価方法	評価時期	進捗確認 (～11月)	達成状況(年度末)	
								自己評価	学校関係者評価
確かな学び	学ぶ力の育成	子どもたちの学びの支えとなる言葉の力を育成する。	●学習用語や目的をもって調べた言葉などを記録した「言葉ノート」や「言葉ポケット」等を活用して表現を豊かにしたり、考えを深めたりする。	「学びの診断」における「言葉の学習」の正答率が80%以上。より適切な表現、伝わりやすい表現になるように言葉を選んでいる。	学びの診断 作文など	年度末	○ 高学年においては、「言葉ノート」や語彙を豊かにする活動が多く行われている。		
			自主学習ノートなどにより、身につけてきた力の定着と汎用化(活用)をめざす。	児童アンケートで、「これまで学習したことを生かして考えようとしている」と肯定的答える児童が80%以上	学校教育アンケート	2月	◎ 言葉づくりや表現に新しい言葉を使おうとしている。		
	授業改善	生きる力の基礎となる基礎・基本の力の定着を図る	つまづきに応じたきめ細かい対応を通して、児童が積極的に学習に取り組む環境を作る。	「授業がよくわかる」「学習が楽しい」という肯定評価80%以上	実践報告 学校教育アンケート	2月	○ 一人席になっているので、個々に前向きに取り組んでいる。		
			●自分の思考や友達の意見を整理し、考えの流れが分かり、学びの手立てとするための「ノート指導」を充実する。	「ノートに自分の考えをよく書いている」で肯定評価85%以上。	実践報告 学校教育アンケート	2月	○ 図や言葉を使って説明できている。		
豊かな心・健やかな体	心の教育の充実	役に立つ喜びや大切にされる喜びを通して、豊かな人間性を育成する	●★学級・学年・全校の集団づくりを通して、互いのちがいを認め合い支え合おうとする児童を育成する。	学校教育アンケートで「学校は楽しい」と答える児童90%以上	学校教育アンケート	2月	○		
			学校全体で支援体制を組み、障害者理解教育の充実を図る。	「人が困っている時に進んで助ける」で肯定評価80%以上。	学校教育アンケート	2月	○ 各学年に応じて学習をしている。		
			読書習慣やゲーム・携帯・スマホのルールについて、啓発に努める。	「ゲームや携帯電話の使い方についての約束を守る」で肯定評価70%以上	学校教育アンケート	2月	○ 各学年に応じて学習をしている。		
	健やかな体	環境を整え、健康を大切にする児童を育成する。	「手洗いをする」「朝食を毎日食べる」等、各自の健康に関心を持ち、生活を大切にするように指導する。	「自分の健康を守るためにしていること」を書くことができる児童が、90%以上	健康アンケート	2月	◎ コロナ感染拡大予防のために取り組んでいる		
体育の授業に加え、学校全体の取組である縄跳び、縦割り活動などを通し、運動への意欲を高め、工夫した体づくり運動の普及を図る。			「運動することが好きだ」で肯定評価80%以上		2月	○			

地域協働 信頼される学校	児童の実態を適切に把握し、地域・各家庭と協力し、基本的な生活習慣の確立、安心で安全な居場所をつくる。	みんなが安心して過ごせるようにするために「新浅香っ子七つのやくそく」を適時確認し、ルールの意義、マナー遵守の大切さを理解し、進んで守ろうとする児童を育成する。	アンケート項目「学校のルールを守っている」や「人の役に立つのはうれい」と項目で肯定的に答える児童が、80%以上	学びの診断・学校教育アンケート	2月		指導できない項目がある。			
	★相手の立場に立って正しい言葉を使ったり、気持ちの良いきれいな環境づくりをめざしたりして行動する児童を育成する。	アンケート項目「人の気持ちが分かる人になりたいと思いますか」「いじめはどんなことがあってもいけないことだとおもいますか」の項目で肯定的に答える児童90%以上	学びの診断・学校教育アンケート	2月	○	道徳や特活の時間を使っての学習では、理解している。				

校長より（年度末）

学校関係者評価者から（年度末）